

講義名称	子どもの保健	担当教員名	丸山 憲一
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の対象の理解に関する科目 選択必修	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CMUC1114

授業のキーワード	子どもの健康、子どもの発育と発達、子どもの病気とその予防
授業の概要	子どもの精神的、身体的な健康状態を成長、発達の観点からとらえ、成長の過程で見られる子どもの主な病気の症状、治療、予防などについて学びます。
期待される学習成果 (目標)	保育者として子どもの成長、発達に応じた健康状態の評価ができるようになること、ならびに子どもがかかりやすい病気について理解し、適切な対処ができるようになることを目指します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	子どもの感染症1	感染症の原因、ウイルスによる子どもの感染症
2	子どもの感染症2	ウイルスによる子どもの感染症、細菌による子どもの感染症
3	感染症の予防	細菌による子どもの感染症、家庭、施設内での感染対策、ワクチンによる感染予防
4	免疫の発達とワクチン	感染に対する防御機能、ワクチンによる感染予防
5	子どもの呼吸器・アレルギー性疾患	気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギーによる病気の症状と対処法、呼吸器疾患
6	子どもの発達と神経・精神疾患1	子どもの神経発達と神経疾患
7	子どもの発達と神経・精神疾患2	子どもの神経疾患と発達障害、精神疾患
8	子どもの栄養と消化器疾患1	新生児から幼児期の栄養と子どものみられる消化器疾患
9	子どもの栄養と消化器疾患2	子どもにみられる消化器疾患、腹部の疾患
10	循環器疾患、血液疾患、腫瘍性疾患	子どもの心臓の異常、血液の病気と腫瘍
11	成長と内分泌代謝性疾患	子どもの成長の特徴と子どもでみられる代表的なホルモンの病気
12	腎・泌尿器疾患	子どもの腎臓の病気
13	乳児突然死症候群と児童虐待	乳児突然死症候群、児童虐待、教育上の問題
14	遺伝と先天異常、新生児疾患	遺伝的要因、環境要因によっておこる先天異常と早産児、低出生体重児、新生児の病気
15	子どもの健康と保健	子どもの健康の概念と保健統計

定期試験	筆記試験
授業時間外学習	第1～5週では感染症とアレルギー疾患、第6～9週では発達と神経性疾患、消化器疾患、第10～15週ではその他の子どもの疾患について、教科書、参考文献、小児科関連の学会のホームページ等で学習を深める。
評価方法	定期試験100%
使用する教科書 (必ず購入してください)	大澤眞木子 監修「保育者・養護教諭を目指す人のための子どもの保健～健康と安全～」(へるす出版)
参考文献	